

プラスチック製容器包装に係る燃料ガス化等  
(生成されたガス等をそのまま燃焼させているもの)  
に関する検討会

# プラスチック製容器包装再商品化の取組

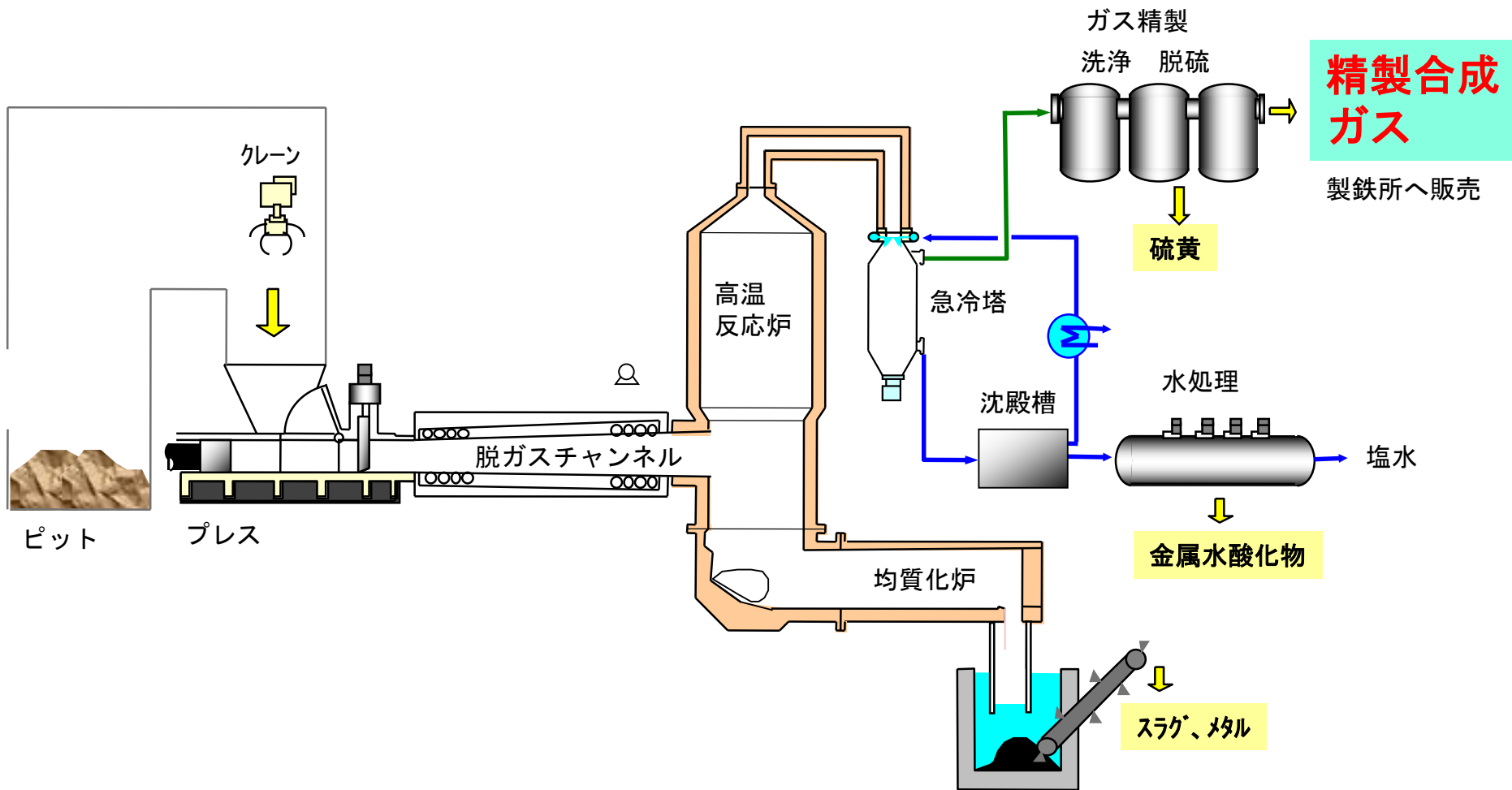
水島エコワークス株式会社

平成29年4月24日

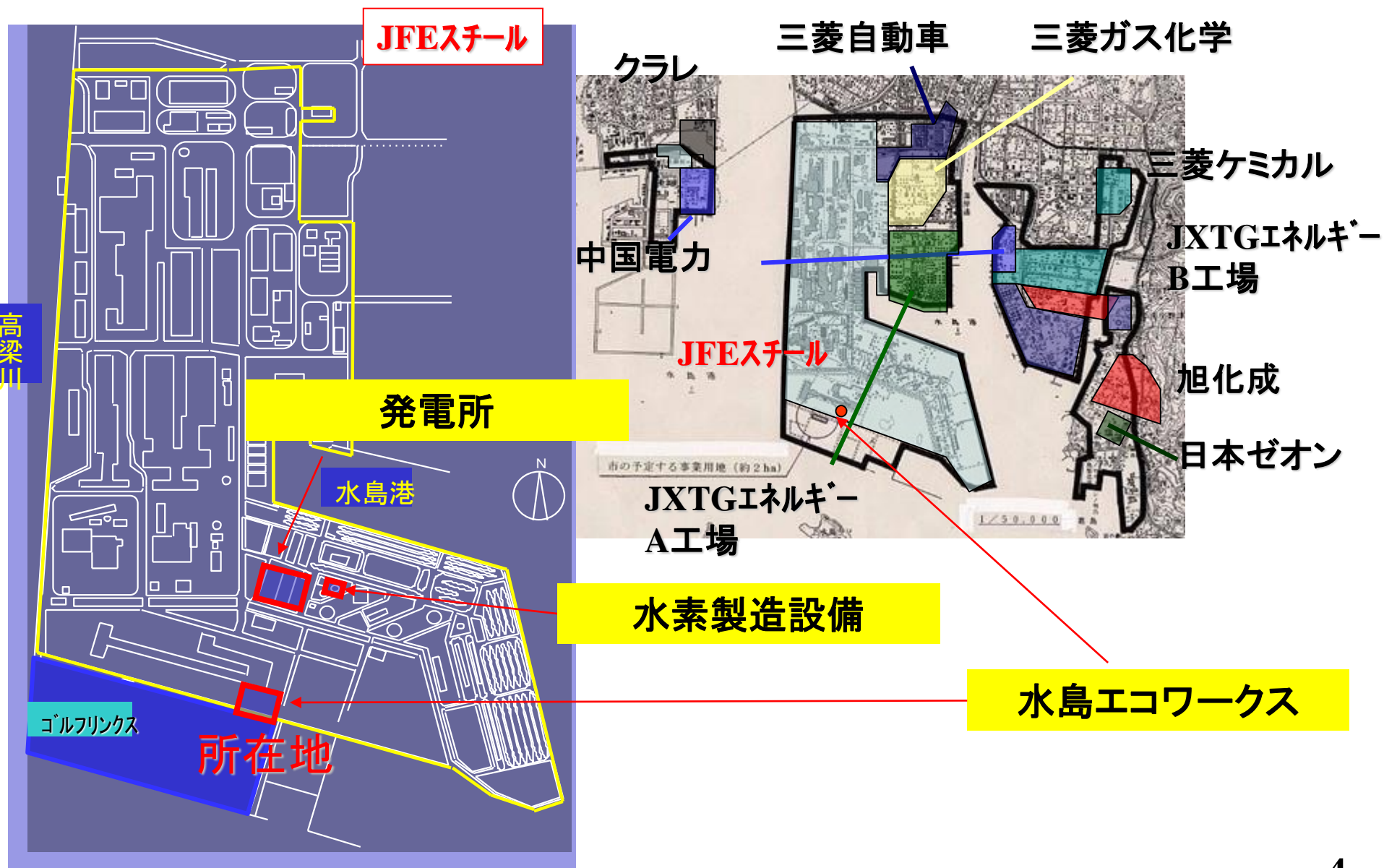
# 水島エコワークス 会社概要

目的	『倉敷市PFI事業』
稼働	2005年4月
資本金	23億円
出資者	倉敷市20%、岡山県10%、 民間70% (コンビニート9社)
処理方式	サーモセレクト方式 ガス化溶融設備
処理能力	555t/日 (185t/日 × 3基) 159,300t/年 プラスチック製容器包装 至近実績 2,000—7,000t/年 容リプラ再商品化ガス販売量 約18,000千Nm <sup>3</sup> /年 (7000t/年時)

# 水島エコワークス 再商品化処理フロー



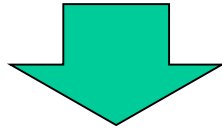
# 水島エコワークス位置 水島コンビナート参加企業



# 再商品化ガスの利用先について

## 【現状】

販売した再商品化ガスは、製鉄会社が所内の発電所の燃料として利用



## 【今後の考え方】

時代の要請を受けて、『水素社会』の一翼を担うべく水素ガスとしての利用を図る。  
(製鉄会社に水素製造用の原料ガスとして販売する)

【現状】 容リプラ → ガス化改質処理 → 精製合成ガス → 燃料ガスとして販売





利用先: 発電所用の燃料

【今後】 容リプラ → ガス化改質処理 → 精製合成ガス → 水素製造用ガスとして販売

利用先: 冷延鋼板製造の最終工程における炉内雰囲気調整用プロセスガス(水素ガス)

# スケジュール

2019年度(H31年度)から水素ガスとしての利用開始を予定

年度	2017 (H29)	2018 (H30)	2019 (H31)
利用先との検討 (ガス条件、供給ルート 事業化のFS 等)			
工事計画 詳細立案、経営判断 機器購入、対応工事、改造 実証テスト、条件調整・試運転			
用途変更開始			 

できる限り速やかにプラスチック製容器包装再商品化ガスのさらなる有効活用を図れるよう取り組んで参ります。

実証試験等のため、上記期間の猶予をいただくことに、何とぞご理解賜りたく、よろしくお願い申し上げます。